

第2回全国木遣りサミット

取り組みに至る背景・事業の目的

- 下諏訪町木遣り保存会の50年の歴史の検証と未来への一層の飛躍の決意を新たにすべく始まった「全国木遣りサミット」も今回で2回目となった。
- 木遣り唄は諏訪地域だけでなく、全国それぞれの地域で伝承保存されており、全国の木遣り師が諏訪の地に一同に会し交流を深めることで、多くの方に諏訪地方の魅力を伝えられる。また、全国の各団体の木遣りを知り親睦を深めることにより、今後の活動をより活発なものにすることができる。

事業内容

- 第2回全国木遣りサミットの開催
日 時：平成25年9月23日（月）午後1時30分より
会 場：下諏訪総合文化センター
出演団体：伊勢神宮奉仕会青年部、善光寺木遣り保存会、
木曾木遣り筏衆、新発田四之町し組会、
民俗サークル四方山会、越中おわら風の盆、
下諏訪町木遣り保存会

参加者：750名

内 容：出演各団体の木遣り披露
演目間には、有識者に各出演団体の地域の
木遣り唄の特徴を解説いただく

- 全国木遣りサミット前夜祭

日 時：平成25年9月22日（日）18：30～

会 場：諏訪大社秋宮境内、中山道立町通り

出演団体：伊勢神宮奉仕会青年部、木曾木遣り筏衆、新発田四之町し組会、民俗サークル四方山会、
越中おわら風の盆、下諏訪町木遣り保存会

参加者：2,000名

内 容：中山道立町通りの流し踊り、出演各団体による諏訪大社秋宮境内特設ステージでの木遣り披露、諏訪大社正式参拝：100名参加 下諏訪町内宿泊：76名



【 サミットの様子 】

事業効果

- 全国各地から参加している保存会や来場者の皆様に、諏訪大社の式年造営御柱大祭木遣り唄を発信することで、諏訪の魅力が伝えることができた。
- 諏訪地域の住民は、県内外の地域の木遣り唄に触れたことで、より一層郷土の文化の価値を深く再認識し、地域への愛情や誇りに繋がった。
- 諏訪大社秋宮周辺・中山道立町通り界隈を中心としてサミット前夜祭を設け、夜の宿場町の幻想的な世界を作り出し、約2,000人という町民・観光客の人出があり賑わった。
- 諏訪大社秋宮周辺店舗の夜間営業等により賑わいをみせた。

工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

- 全国木遣りサミットを開催するにあたり、平成23年度より保存会パンフレット、御柱街道マップ、諏訪大社御柱木遣り唄伝承保存DVDの製作、諏訪大社下社御柱曳行路散策ツアー「木遣り師と歩く御柱街道」イベント等を開催し準備を進めきた。
- 親から子へ、子から孫へと脈々と受け継いできた「諏訪大社御柱木遣り唄」・「御柱祭」を全国へ、更には世界へ発信し、諏訪地方の伝統文化の魅力を伝えます。
- 諏訪地方の子ども達が「諏訪大社御柱木遣り唄」を体験し学習する機会を設けることで、郷土文化への理解、地域への愛着や誇りを創出し、青少年の健全育成につながるような活動に繋がります。
- 諏訪大社御柱木遣り唄の伝承保存の活動を通して、御柱祭を盛り上げ、諏訪地域の住民に力を与えるとともに、魅力ある観光地づくりを進めます。

【選定のポイント】

全国の木遣りを知り、情報を共有し親睦を深めることで、御柱祭・御柱木遣り唄の魅力発信及び観光客の増加が期待される。

団体名	全国木遣りサミット実行委員会（下諏訪町） 下諏訪町木遣り保存会 事務局	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	0266-28-1282	事業費	3,599,855円
		支援金額	2,555,000円